





































鳴子温泉



得られるよう努めていく。また、民間企業などの協力がもの支援を行っていきたい。地域で考えていただければ、

ン」を設置したところ、お客う無料休憩所「ほっとサロ られました。 で、ささいなサービスが大きさんからは大変好評とのこと な感激になることを実感させ 客さんにお茶のサ また、 温泉街を散策するお ービスを行

にある。

何らかの対策を考え

師で力が

5

いる状況

確保をお願い

分院までの道路・ 鳴子分院の医師の

交通の

間を作っていきたい。支煙茶飲みができる交流の場、

支援を

を一時的に預けられたり、 や買い物の間に、子ご

子ど

空き店舗を活用し、

仕事

常勤医師の不足を応援医

### 未来トー ク 意見交換~

なり先になるが、国土交通省敷の道路整備については、か鳴子分院までの江合川河川

ように捉えているか。 観光資源として荒雄川をどの 誘客を図っている。 ス区間を設置し、 荒雄川にキャッチ&リニ鳴子漁業協同組合では、 大崎市の 釣り チ&リリ 人の

けてほ ポッ てほしい。荒雄川は観光スをこれからも精力的に続これまでの画期的な活動 きた トの一つとして定着 行政としてサポー 制では無理があるため協議を多く、市内一律の除雪体

ある。

る。除雪対策を考えてほしため高齢者世帯は大変でいれる。

設を建設し誘客を図れない 受入施設、 温泉を利用した施設、 財政難であることから行を建設し誘客を図れないか。等、健康ランドのような施 へ施設、室内ゲートボール 入施設、室内ゲートボール泉を利用した施設、障害者土地がある。自然環境や土地がある。 |ユニティビジネスなどを| 政が行うことは難しい。 を育て、対応できないものかティアのような形の活動母体きたい。例えば、有償ボラン どの人たちに関わっていただり、地域自治組織やNPOな全てを行うことは不可能であ 考えてい い。また、除雪作業は行政で行うとともに現状を視察した

的に職員を参加させたい。職るためにも、研修などに積極や協働のまちづくりを推進す きたい 信頼される職員を育成していながら、市民の負託に応え、 員間の連携、 資質向上を図り





ホホ

整備、 連携体制を構築して

また、 会と協議を行っていく。の設置について社会福祉協 的に参加できる体制づく ボランティア たい 、センタ

クラブ

とまとクラブでは、

クラブでは、EM菌を」と懇談を行いました。

みリ

白紙撤回となっ た県の

作っています。こうした取り使用して安心・安全な野菜をり、会員宅では、この肥料を

使用して生ごみの堆肥化を図

話し合いましき。組みの情報発信などについて

幅広い分野に声掛けをしていないような企業誘致も含めて、ストだが、この地に違和感の しても良いという企業などに、しながら、進出あるいは投資 きたい 保健や医療の分野であればべ 緒に声掛け をしている。

害に備え、防災計画の早期策いつ発生するかわからない災確率で予測されている。

宮城県沖地震の発生が高

定が必要ではないか

現在作業中である。岩出防災計画の策定に向けて

in 岩出山





りを行い 行政との 議会と協議を行って 災害ボランティア

専門病院などの施設の建として、民間資本のガンとして、民間資本のガン 4 大崎市出身の4 どうか かたがたの の建設は の対ン治療 の再利用策

未来トーク

意見交換~





# 制ンテ

♪ ボランティア活動に積極おく必要があるのでは。

岩 出 山



**~地域視察~** 

# に取り組んでいる西大崎生ご 会「とまとクラブ」西大崎生ごみリサイクル研究 ウルを行い、ごみの減量化西大崎地区で生ごみのリサ サイクル研究会「とまと

を優先 した

# めの施策はどうか。農産物等の産業育は 産業育成の

と一体となった施策で農産物恵まれていることから、観光移行していく。大崎は食材に いきたい

も特化できるものである。

五

/ツーリズムなどの観光に/大きな財産であり、グリ

できる業務は民間へ委託のに進めていく。民 → 行政改革については積極
三割は減らすべきではないか。 ることから、 職員は十年間で四百人を減ら すことを合併時に決定して ム化を行いたい 17717 (早期に行政のス) 早期に決定してい

を伸 価値を高めるための支援策に点に立ち、農産物の付加

ないので、設立に向けてバツ組織がまだ立ち上げられてい山地域においては、自主防災 クアップしているいので、設立に 向けてバッけられてい自主防災

### 治体の職員数より多い。市の職員数は同規模の 民間に Ė

がどうなっているのか。 岩出山分院は多くの住民

ずは財政の健全化・行政改革 厳しい財政状況から当面がどうなっているのか。

### これからは経営と いう視 た

向上活動支援実験事業に農地・水・農村環境保全

組織づくりが必要である。事後も補助なしでやっていけるめるというのではなく、その年後に補助が終わったからや 業委託という分野も視野に入 新たな手法を見つけて 子温泉



# 「でっペクラブ」 鳴子一店逸品運動研究会

係者によって設立されました。 言で『でっぺ』)のコンセプト外に積極的に出ましょう (方 のもとに鳴子温泉街の商店関 「でっペクラブ」は、 鳴子一店逸品運動研究 「会議や 会



未来トーク ~意見交換~



いては、√ 舗を活用-

「すくすくセンタ

した拠点づくりにつ

見直しを行って り入れていく考えで、

いる。

空き店

計画の

保一元化・民間運営を取

子育て施設の新設は、いしたい。

にその機能を包含したい。

# 有限会社マルセンファー ム

とかとうである。また、当でてけます。また、当ででは、直売所のしています。また、当がでも 培行っている「マルセンファはじめ多くの野菜のハウス栽品であるデリシャストマトを 鹿島台若手経営者実践研究会 の提供に努めて との交流を積極的に行 の見える安心で安全な農作物 鹿島台地域を代表する特産 います 、直売所のした。マル 顔

は、ネットシワ交換を行いま\_ 合いました。店舗の有効活用について話 利用した情報発信、 ル「互市どっとこむ」を運営 経営者実践研究会」との意見 三人で構成する「鹿島台若手 しており、 鹿島台地域の若手経営者十 トショッピングモーいました。研究会で インタ 商店街空 トを

> 制度について、市長の考えをとができない地域住民の救済い。二線堤の恩恵を受けるこ 聞きたい ては、いまだ確立されていな害に対する救済制度)」につい 「バックアップ制度 (洪水被)」の 「水害に強いまちづ

現していくか、今後の課題と国や県と協議しながらどう実の施策としてどう位置付けし、 定していく中でかなり難しい。 させてほ\_ ・ 受を記書をする。
・ でこの
・ ででこの
・ ででこの
・ ででこの
・ ででこの
・ ででこの
・ ででこの
・ でででにの
・ ででこの
・ ででこの
・ でででにの
・ ででにの
・ でででこの
・ ででにの
・ ででにの 度を完結させて いく中で、 しくいか 防災計画を策Oせていくのは 大崎市全体 は制

委員制度」がなくなる。 来年度から住民と 直に と聞行

対応できない

後の支援策等は大崎市として期限付きの制度である。その取り組んでいるが、五年間の

あるのか。

農村が持って

いる機能は